

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	一般小売店〔靴〕（経営者）	・市全体の商業祭、売出しもあり、季節の商品が一番動く時期なので、今より売上が上がる。
		百貨店（営業担当）	・高額商品を中心に、客の購買意欲が高まっており、消費の回復が期待できる。
		百貨店（営業担当）	・改装を行ったので、その効果で伸びる。
		百貨店（販売促進担当）	・毎月の売上高をみると前年を上回る月が続いていることから、今後もこのトレンドが続く。
		百貨店（販売担当）	・2、3月のリモデル効果により、5～8%の売上増が見込める。
		スーパー（店長）	・少しグレードの高い商品の動きが良くなっている。これから先2～3か月もこの傾向は続く。
		コンビニ（エリア担当）	・大手スーパー閉店の後も地元のチェーン店の入店が決定しているようであるし、また別の撤退したショッピングセンターの跡地にも動きがあるようだ。また新規の大型出店があると思われるので、2～3か月後には、数字も回復し上向いてくる。
		コンビニ（エリア担当）	・新卒者の就職率が高くなってきているので、少し良くなる。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・全体的に高額商品の動きが良くなっている。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	・気温がやや上昇してきたのといまって、ようやく春物の動きが出てきている。
		百貨店（営業担当）	・幅広い年齢層で来客数が増加しているように感じる。新しい商材、興味を引く催事には敏感に反応している。お金を使う機会を求めているようである。
		家電量販店（店長）	・いよいよ今年の10月から、地上デジタル放送が始まるにあたって、買い替えの需要が増加する。
		家電量販店（店長）	・全体的には、3、4月はシングルライフ需要も始まる。また野球、サッカー等のイベントもあり、市場はにぎわう。
		自動車備品販売店（経営者）	・悪くなる要因も見当たらず、このまま堅調な動きが続くとみている。高額品（ナビゲーション等）の動きや客の来店数自体も伸びてきており好調さを持続する。
		その他小売（営業担当）	・広島観光資源が理解されつつある。心配なのは先日発生した宮島航路のフェリー事故の影響で、イメージ低下につながるのではないか心配である。
		一般レストラン（経営者）	・1月に引き続き、2月もイチゴのフェアが大変好調で、客単価が前年比50円くらいアップしている。このフェアが4月まで続くので、好調なまま推移する。
		一般レストラン（店長）	・ここ最近徐々にではあるが、上向いているので、このままの状態が続く。
		一般レストラン（店長）	・この調子で維持できると思われる。3月度は歓送迎会の予約が入ってくるが、単価も良さそうである。
		観光型ホテル（経理総務担当）	・宿泊予約数が確実に増加してきている。
		都市型ホテル（総務担当）	・3月以降から来年度第1四半期にかけて、一般宴会、宿泊は、手持ち分で既に前年はクリアしている。客単価も増加傾向にあり総じて景気は上向きである。
タクシー運転手	・地域全体としては、良い方向に向かっていると思われる。タクシー業界では十数年、不景気が続いていて、その中で、規制緩和や運賃の問題等、議論が高まっている。良い方向に向かえば期待が持てる。		
通信会社（企画担当）	・年度末・年度初めをはさんでいることもあるが、キャンペーン実施による費用をかけることで、商品の動きが高まる。		
通信会社（販売企画担当）	・新生活の需要期と新商品の投入が重なるため、販売数が若干伸びる。		
テーマパーク（業務担当）	・春季イベントと合わせ、4月には周辺地域に新規に博物館・公園などが登場するため、相乗効果による地域全体の活性化を見込んでいる。		
住宅販売会社（従業員）	・来場者数においては、多少回復傾向は見受けられるので今後やや良くなるのではないかとと思われるが、客の様子だとまだ厳しい状況が続く。		

変わらない

商店街（代表者）	・来月末にも閉店店舗があり、また店舗数が減少する。中心市街にある商店街の沈下が止まらないような状況のため、通行量が極端に減少している。
商店街（代表者）	・本当はもっと良くなってほしいのだが、商店街の周辺でも撤退とか閉店が目につき始めた。末端の小売業は製造業に比べて景気回復の実感が少ない。今ごろになって悪い面が出てきているのかと思われ、不安をかきたてられている。
一般小売店〔印章〕 （営業担当）	・下関駅舎火災からの全体的な復興は、仮店舗にしるまだ数か月の日数を要すると思われる。名店街そのものは損害を受けなかったが、駅利用の客のゆとりを持った滞留時間が少なくなったように思われ、被災をまぬがれた店舗においても減収が当分続く。
百貨店（販売促進担当）	・公務員に加え地元大手企業の給与カットも始まるなど、消費が大きく上向く要因はみえてこない。秋冬、好調に推移した低価格商品を、春夏についてもさらに拡大展開し、価格を切り口にした品ぞろえを強化する。
百貨店（売場担当）	・春物の導入在庫が確定し、大手を中心に前年の7がけの導入量というところが大半を占めている。それに対し、夏物は前年の110、120と在庫量を組むところが多く、5月以降は少し上向きになると思われるが、3、4月は少し低迷する。
百貨店（売場担当）	・地域経済の見通しとしては、まだまだ先行き不透明なものがある。高額商品も一時は良く売れていたが、ここにきてかなりばらつきがある。今後についての売上動向は、非常に読みにくい。
百貨店（購買担当）	・今年は例年以上に、ファッション雑誌からの情報が客に浸透していて、特にテレビで見たブランド目当ての来店客も目立つ。また今年のトレンドである、フェミニン系などの動きも良く、これから先、春から夏に向けても順調に推移する。
スーパー（店長）	・今月の中旬に大型店のオープンがあり、より価格競争の傾向が強まり客の買い回りが続く。客数減、客単価の低下は続く。
スーパー（店長）	・新聞等では景気が良くなるということだが、自分達や周りの店舗ではまだそのような良い状況にはなっていないし、この先2～3か月も良くなるような材料は見当たらない。
スーパー（店長）	・客数、販売点数の微増、客単価の低下といった状況が1年近く続いており、この先2～3か月も同じような状態が続く。
スーパー（店長）	・例年5月度は、固定資産税、車の重量税等の税金との兼ね合いで、食品に対する支出が厳しいものとなる。単価的にも生鮮食品が上昇する気配は見受けられず、現状のまま推移する。
スーパー（総務担当）	・平均単価が上昇しない。競合店との兼ね合いもあり特売単価が低下したままである。少なくとも販売数量でも上昇してくればよいが1～2ポイント低下している。
スーパー（管理担当）	・季節的には当月よりも販売数が増えるはずだが、特にそれ以外に販売数量増加となる要因が見つからない。
コンビニ（エリア担当）	・まだまだ客は、本当に必要な物しか購入しない状態が続く。
コンビニ（エリア担当）	・客数は前年比を上回ってきているが、客単価、買上個数は相変わらず低下したままで、単価上昇にはまだまだ時間がかかる。
衣料品専門店（経営者）	・今より良くなる兆候も悪くなる兆候も見受けられない。
衣料品専門店（販売促進担当）	・気候にも左右されるが、購入に対して慎重な客は増加している。
家電量販店（店長）	・お金は持っていて、まだまだ先行き不透明のためか、必要以外に消費をしない状態が続く。
乗用車販売店（統括）	・新商品もあり来店客数はそれなりに多いと予測されるが、実際の購入の伸びは少ないのではないかと。メンテナンスでの収益も例年より少ない。
乗用車販売店（営業担当）	・決算商戦(2～3月)を迎えているにもかかわらず、新規来場者数は増えず、また既納客の代替意欲も今一つ盛り上がらない状況で、4～6月もさほど大きな変化が期待できない。
住関連専門店（広告企画担当）	・客から頻繁に「必要最低限」と言われ、そのレベルが低くなっている。この傾向は、まだまだ続きそうである。
その他専門店〔スポーツ〕（店長）	・近隣のデパートや商店街の状況が良くない状態であるため、今より来客数や売上の増加する可能性は非常に低い。

	その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・今月は昨年対比で2けた近く延びており、これを維持することは難しい。商品力とサービスのレベルアップにより昨年よりも客数を伸ばしていきたい。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・宿泊は横ばい状態が続くかとも思われるが、会議、宴会、イベント等の需要が増加してくる。	
	都市型ホテル（経営者）	・5月の客室部門の予約も前年同期を若干ではあるが上回っており、また、地方はまだまだ厳しいが景気回復基調の報道等により徐々に閉塞感が薄れてきており、料理飲料部門も当月同様に期待が持てる。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・団体客はそこそこあるが、低単価が続いているので、たとえ集客人数が増えても、売上は前年を下回るかもしれない。	
	旅行代理店（経営者）	・例年、年度末になると駆け込み需要というのがあったが、依然としてそういった需要がない。また、年度明け4月からの見通しも不透明である。	
	タクシー運転手	・現状よりは良くなると思われるが、ほとんどの業種で、消費者全体が先行きを考え、お金を使うことをためらっているように感じる。	
	タクシー運転手	・過去6か月の業績をみても、今後良くなるというポイントが見当たらず、このまま推移すると思われる。気候的なもので、若干数字が上向くのではないかと思われるが、それでも前年並みの数字にしかない。	
	通信会社（経営者）	・客の反応も厳しいままであり、好転の兆しはみえないまま推移している。良くなる兆候もみえない。	
	テーマパーク（財務担当）	・今春から昨年までのイベントを見直し、よりシンプルなものにする予定にしている。その反響がどのように出るか不明な点もあるため、どちらとも言えない。	
	テーマパーク（広報担当）	・大型の団体客の動きが予定されているが、値引きにより客単価が落ちており、プラスマイナスゼロで推移する。	
	設計事務所（経営者）	・建設業界の中小企業とすれば、大手企業にとって有利な発注条件の影響も受け、将来的にも明るい兆しが見受けられない。	
	住宅販売会社（経理担当）	・当面購入予定はないが、モデルルームがあるので参考のために来場するという客が耐震偽装問題の影響で減少しており、この客層の来場が回復しないと全体的な契約数の増加にはつながらない。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街への来客数の減少がずっと続いており、今後も期待できない。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	・新築物件の着工が多く期待できないため、家具の売上も先行き不安である。
		スーパー（店長）	・来月中旬に、当店から1.5キロの地点に競合店がオープンする予定である。出店自体の影響もさることながら、他の競合店が対策のためにどんどんチラシをうってくるのが予想され厳しい状況になる。
		スーパー（店長）	・客単価から見ると、個人消費には回復及び上昇の傾向が見受けられるが、近隣に郊外型のショッピングセンターが出店した影響もあり、客数については、前年同期の80%台で推移している。今後もこの状況は続くと思われる、厳しい見通しである。
		コンビニ（エリア担当）	・2～3か月先は、工事客の来店数の減少が予想されるため、全体的には悪くなる。
		乗用車販売店（販売担当）	・4月以降の新年度、多くの業種で賃下げの話があり、客の買い控え傾向が強くなっていくのではないかと、大変危惧している。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・近くで大型の工事が始まり、交通渋滞が予想される。来客を避ける人が増えそうである。
	悪くなる	○	○
	良くなる	-	-
企業 動向 関連	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・大手の企業業績予想は良好のようで、我々中小にも好影響が出る。
		金属製品製造業（総務担当）	・得意先が今年9月より生産を強化するので、当社にも増産依頼があるなど、今年の見通しも、昨年と同様に堅調である。
		一般機械器具製造業（経営企画担当）	・海外向けの自社製品の売上について、下降の見通しであったが、北米向けを中心に受注が入ってきており、回復の兆しが見られる。

	電気機械器具製造業 (総務担当)	・携帯関連は、入学、卒業・就職などのタイミングに合わせ、携帯各社春モデルを強気に投入し、生産能力以上の受注が入っている。自動車・鉄道関連も今後受注低下の兆しは全くみえず、引き続き好調な生産が部材メーカーともども入ってくる。	
	建設業(営業担当)	・物流関係及び販売関係の店舗の進出計画が具体的に動き出した。また、製造業関係の設備投資計画が4月以降実施に入る傾向にある。	
	金融業(営業担当)	・企業の格差が広がっていることは間違いない。特に悪い企業についても、たちまち倒産まで至るところはなくなっており、淘汰がかなり進んできた。良い企業の受注量は増加しており、全体をけん引している。	
	金融業(業界情報担当)	・米国経済の減速や原油価格の高止まりが懸念材料ではあるが、総じて世界経済は堅調に推移すると予想され、急激な円高とならない限りは、輸出の好調がけん引役となり、引き続き好業績が期待できる。	
変わらない	窯業・土石製品製造業 (総務経理担当)	・春先納期の大口案件が控えており、生産水準は現在量を継続できる。	
	鉄鋼業(総務担当)	・中国における鉄鋼過剰生産による生産調整が汎用製品を主体に昨年の夏以降続いている。現状においても、過剰生産が落ち着く気配がみられず市況維持のため、さらに生産調整を継続することになる。	
	電気機械器具製造業 (広報担当)	・これからも受注が確保できる見通しにある。	
	通信業(営業企画担当)	・法人向けサービスにおいては、今後コピキタス(生活環境の中にコンピュータチップとネットワークが組み込まれ、ユーザーはその場所や存在を意識することなく利用できるコンピューティング環境)社会実現の一環として、在宅や外出先を含めたネットワークづくりなど拡張提案をしていくが、ブロードバンドサービスの普及が途上にある現状では、高品質サービスに対する地域市場の反応は鈍く、業界サイドにとって早い時期の景気上昇は期待できない。	
	会計事務所(職員)	・ここ数年の間で比較しても、製造、建設業はかなり受注量が多く忙しい状態の企業も何社か見受けられる。ただし単価面では相変わらず厳しい状態が続いており、受注量が売上高に結びつくかどうか大きな鍵となってくる。小売販売業は、今一つ波に乗りきれしていない。	
やや悪くなる	食料品製造業(総務担当)	・短期的な商品が多く、長期的な契約がとれていないことから、先行き不安を感じている。	
	輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・現在、受注量、生産高ともに横ばいの状況が続いている。原材料等の購入価格は高止まりが続き厳しい状態がである。また、春の賃上げ時期を迎え、さらに受注価格についても流動的な不安があり、採算面における懸念が大きい。	
悪くなる	コピーサービス業(管理担当)	・同業者も販売量は減少しており事業自体の見直しを行っている。	
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社(経営者)	・製造業を中心に正社員、派遣社員ともに人材確保に対する意欲が高いと感じられる。
		人材派遣会社(担当者)	・急激には変化はみられないと思うが、全体的な求人数が増加の傾向にある。
		求人情報誌製作会社 (担当者)	・依然人手不足感が企業にある。
		民間職業紹介機関(職員)	・大きな不安材料がなくクライアント企業と話していると潜在的な求人が意外にあることに気づかされる。
		民間職業紹介機関(職員)	・技術系求人において、1社で10名以上の求人をする企業が出始めた。
		学校[大学](就職担当)	・ある企業の方の話によると、近く金利上昇がありそうで、その前に設備投資をしたい。そのためには人材が必要であり求人確保にそれが反映されるのではないかということであった。
変わらない	求人情報誌製作会社 (支社長)	・3か月前に比べて、求人数が上向きになっている。この状態は今後も続く。	
	職業安定所(職員)	・新規求人は増加傾向であるが、これからしばらくは、新規求職者も定年退職者の増加にともない増えていくと思われ、求人倍率が下がる。	
	職業安定所(職員)	・今後も正社員の求人数は前年に比べて増加することが見込めるが、求人職種によっては、全く応募がないといったものも多数存在する。	

	職業安定所（雇用開発担当）	・有効求職者数が横ばいとなったことと、今後しばらくは、求人数そのものが大きく変動する要因が見当たらないことから、変わらないと思われる。依然として、求人増の要因は急増する派遣求人とパート求人であり、実態として良くなったという実感はない。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-